

## 「町長との対話会」を開催

町長が町内各地を訪問し、直接町民の方々の声を聞き、それをまちづくりに反映させることを目的とした「町長との対話会」を、6月22日から7月20日にかけて町内9会場で開きました。

対話会には、205人の町民の方々が出席し、冒頭に町長から近年の取り組みとして、役場窓口におけるサービスの向上などについて説明し、その後、人口減少問題、産業の振興、子育て支援などについて町長と意見を交換しました。

対話の中で、比較的発言が多かった内容を下記のとおり紹介します。下記に掲載されていない個別具体的な意見や要望もありましたが、これらについては、役場全体で業務の参考とさせていただきますので、あらかじめご了承ください。

### ◆まちづくり全般について

質問	地盤の固さや高速交通などの町の強みを生かしてはどうか。また浅く広い対応のまちづくりではなく、何らかのテーマ1点に絞ってまちづくりを行ってはどうか。
町長	地盤の固さや災害に対する強さ、高速交通は町の強みと思っています。インターチェンジ周辺整備の検討を始めており、これらの強みをアピールしながらまちづくりに取り組んでいきます。テーマを1点に絞ったまちづくりについては、産業に関しては農業・商業・工業など各分野でバランスのとれた発展を目指しますが、町の強みに的を絞ったまちづくりについても考えてまいります。
質問	観光客をできるだけ長く町内にとどめるための取り組みが必要ではないか。
町長	観光協会や商工会との連携を強め、観光客の皆さんができるだけ長く町で楽しむことができるよう取り組んでまいります。
質問	原発事故で避難を余儀なくされていた自治体などを含め、国道349号線を軸に交流を深めて、復興を支援しながら地域づくりをしてはどうか。
町長	国道349号線沿いの阿武隈高原地域自治体とは原発事故前から観光や地域振興の分野で連携しています。個別には、現在原発事故で被災された自治体の一部と連携協定締結に向け協議を行っています。地域の連携は、行政のみならず民間団体レベルで進むと、より細やかな交流ができると考えます。
質問	町民の皆さんから「夢」を募集し、ほかの自治体では真似できないまちづくりを行ってはどうか。
町長	町では「夢企画提案事業」を実施していますが、このほかにも普段から皆さんの声を聴き、町の実状に即した施策を実施したいと考えています。ほかの自治体の例も、真似ではなく「良いものは良い」として参考にしてみたいです。



1\_ 谷津作地区研修センター / 2\_ 勤労青少年ホーム / 3\_ 小野赤沼多目的集会施設 / 4\_ 飯豊下多目的集会施設 / 5\_ 吉野辺集落センター / 6\_ 小野山神ふれあい館 / 7\_ 夏井多目的集会施設 / 8\_ 塩庭二区多目的集会施設 / 9\_ 塩庭多目的集会施設